

小学校 第5学年 社会科学学習指導案

(内容) 第5学年 「世界の中の国土」 (3/4時間)

(目標) 日本の国土の位置やまわりの様子について、端末を使って調べることができる。

過程	学習活動	指導上の留意点	機器等の活用場面
	1. 前時の振り返りをする。	○緯度と経度について想起することができるよう世界地図を提示する。	
導入 10分	2. 本時の課題に迫る。 3. 端末上で日本地図のサイズを調整し、正しいと思う位置へ配置する。	○端末上に描いた世界地図上で、大きさも位置も異なる日本を適切な大きさと位置に調節するように投げ掛ける。 ○操作方法について説明後、円滑に進まない児童には、対処の仕方について助言する等、支援する。	Google スライド [学習意欲の喚起]
	4. 本時のめあて(課題)を設定する。	○「日本の国土の境目は、どこなのか」と問い、児童の発言を基に、本時のめあてを設定する。	
めあて 日本国土の範囲は、どのようになっているのか調べよう			
展開	5. 教科書や地図帳で調べる。 <div style="border: 1px solid blue; border-radius: 15px; padding: 5px; width: fit-content;"> <ul style="list-style-type: none"> ・西の端は与那国島だ。 ・日本の端は、すべて島 のようだよ。 </div>	○既習との関連を図り、日本の国土の範囲は、北緯と東経で表すことができることをおさえるようにする。 ○日本の端(島)の様子に関心が向いたところで、端末で調べることを提案する。	
25分	6. 日本の端(島)について、端末を用いて、調べる。	○ Google Earth について、教科書や地図帳と連動させながら、使用することを伝える。 ○沖ノ鳥島と南鳥島については、容易に見付けられないことから検索方法を伝える。試行錯誤しながら調べる場を設定し、国土の範囲について実感を伴った理解へ誘うようにする。	Google Earth [理解の深化]
終末 10分	7. 本時のまとめをする。	○分かったことを端末のシートにまとめることができるように、Google Jamboard の使い方を説明する。	Google Jamboard [まとめる技能の向上]
まとめ 日本国土の範囲は、北緯と東経を用いて表すことができる。日本の東西南北の端は、島である。			
	8. 次時への見通しをもつ。	○次時は、本時でまとめたシートに調べたことや気づきを付加していくことを確認する。	

